

令和6年度第1回函館市スポーツ振興審議会 会議録

- 1 日 時 令和7年3月21日（金）
15時00分～16時00分
- 2 場 所 市役所本庁舎5階 教育委員室
- 3 出席者 委員： 小笠原会長，委員A，委員B，委員C，
委員D，委員E，委員F，委員G
(委員10名中8名出席)
事務局： 長尾スポーツ振興課長，池上主査，
濱谷主事，佐々木主事
傍聴者： 0名

4 議 事

(1) 協議事項

令和7年度スポーツ振興課事業内容について

(2) その他

5 発言要旨

(1) 開 会

- ・事務局
(池上主査) (委員10名中8名が出席しているため，審議会規則第3条第3項に基づき，本審議会が成立していることを報告し，開会した)

(2) 会長挨拶

- ・小笠原会長 | —— 挨拶 —— (省略)

(3) 事務局紹介

- ・事務局
(池上主査) 本年人事異動があった事務局職員を紹介。
—— 異動のあった事務局職員の氏名を読み上げて紹介 —— (省略)

(4) 議 事

- ・事務局
(池上主査) それでは，これより議事に入らせていただきますが，議事の進行にあたりましては，審議会規則に則り，会長が議長を務めることとなっておりますので，小笠原会長よろしく願いいたします。

- ・小笠原会長 それでは、議事を進行させていただきます。
「（１）協議事項 令和７年度スポーツ振興課事業内容について」
です。
事務局からお願いいたします。
- ・事務局
（長尾課長） スポーツ振興課長の長尾から、令和７年度スポーツ振興課事業内容について、説明をさせていただきます。
―― 令和７年度スポーツ振興課の新規事業
・運動・スポーツ習慣化促進事業費
・スポーツ大会・合宿誘致促進事業費（プロスポーツ合宿誘致活動費）
・スケートボードエリア管理運営費
・スポーツ施設環境整備事業費
の４点について事業内容を説明 ――（省略）
- ・小笠原会長 ありがとうございます。
ただいま説明がありました４点の項目につきまして、
各議員からご意見などございますか。
―― 出席している全委員からご意見を伺うこととなった――
- ・委員Ａ ４つの新規事業、とても良いと思った。Ｊリーグのキャンプ誘致については、芝やホテルといった要求がＪ１は高いと思うが、Ｊ２、Ｊ３になるとそれほど要求が高くないと思うので、サッカー教室や地域交流なども考慮しながら誘致していただきたい。
- ・委員Ｂ 周辺市町では、過去に七飯町が川崎フロンターレ、北斗市が浦和レッズレディースの合宿を誘致していると記憶している。
キャンプはファンや子どもたちとの交流の場となっており、七飯町ではキャンプをきっかけに、子どもたちのサッカー大会「フロンターレカップ」が毎年開催されている。
函館でもキャンプが開催されるのであれば、サッカーの競技力向上や競技人口の増加にも繋がると思う。
- ・委員Ｃ ① Ｊリーグキャンプ誘致
北海道にとってチャンス。子どもたちにとっても良い機会。
沖縄県ではプロ野球のキャンプ誘致を行っているが、プロチームは要求が多く、赤字になる自治体もあると聞いたことがある。
チーム選びが重要と思う。
② 運動・スポーツ習慣化促進事業

昨年開催された「モルック世界大会」は参加者も多く、単純だが頭を使う競技で、場所を選ばず、世代を問わず楽しめるとても良いスポーツだと感じた。今後も、モルックの大会が開催されると良いと思う。

③ スケートボードエリアについて

現在は、駐車場や街中で滑走している人を見かける。

競技の指導だけではなく、ルールやマナーをきちんと教えられる指導者が必要だと思う。

・委員D

陸上競技大会で苫小牧市に宿泊した際も、ホテル料金の高騰・インバウンドの増加などでホテルの確保が難しかった。Jリーグキャンプ誘致もホテルの確保が大変だと思う。

青森の県営陸上競技場には宿泊施設も併設しており、駐車場も余裕がある。函館の陸上競技場は駐車スペースが足りておらず、大会開催時は路上駐車が絶えない。土地に余裕がある場所にスポーツ施設が建設されるのが望ましい。

どんなスポーツでもトップレベルの選手を間近に見ることで、子どもたちが憧れや興味を持つことが健全育成に繋がると思う。

・委員E

合宿誘致は良いことと思うが、他の競技についてもスポーツを応援し、協力的なホテル・合宿所が増えると良い。

日々の練習だけでなく、合宿によってモチベーションや競技力がアップするので、皆で協力してスポーツを応援する取り組みができれば良いと思う。

・委員F

函館は地場産業が少ないので、外からの収入を得るためにも合宿誘致は有効だと思う。

運動やスポーツを習慣化させるのはとても難しいが、外に出て、体を動かす楽しさを知ってもらおうキッカケになったり、絶対に行きたくなる場所づくりを今後も市と協力していきたいと思う。

・委員G

Jリーグのキャンプ誘致については、芝が大事だと聞くし、トルナーレには芝に詳しいグラウンド整備の人がいると聞いている。せっかくお金をかけて整備するのであれば、長く使えるよう整備の人材を育成・確保するのも大切だと思う。

また、ホテルでは人材不足により客室を100%稼働できていないとも聞く。チームの要求に応えられるホテルの確保が難しいと感じた。

・小笠原会長

それでは、事業内容に関する意見交換は以上といたしますが、よろしいですか。

次に、(2) その他ですが、事務局から何か報告はございませんか。

・事務局
(長尾課長)

事務局より1点報告させていただきます。
本年2月12日に開催されました、
令和6年度函館市スポーツ賞贈呈式にて
成績部門で受賞された 稲村 潤己 (いなむら じゅんき) さんですが、
2月27日から3月2日にかけて群馬県で開催された
全日本スノーボード技術選手権大会で優勝し、
見事、2連覇を達成いたしました。
令和7年度も変わらず函館市民であれば、成績部門特別表彰の対象となります。
以上でスポーツ振興課からの報告を終わらせていただきます。

・小笠原会長

ありがとうございました。
委員の皆様から何かご質問などありますか。

・各委員

(特になしの声)

・小笠原会長

これで、本日の議事は終了いたしました。
委員の皆様におかれましては、精力的にご審議いただきまして、
御礼申し上げます。

それでは、事務局に進行をお返しいたします。

(5) 閉 会

・事務局
(池上主査)

小笠原会長、お疲れ様でした。
委員の皆様、本日はお忙しい中ご出席いただきまして
誠にありがとうございます。

以上を持ちまして、「令和6年度第1回函館市スポーツ振興審議会」を
終了いたします。

本日は大変お疲れ様でございました。